

I 事業の概要

1. 事業の概要

少子高齢化で生産年齢人口の確実な減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会や職業の在り方そのものも大きく急激に変化している。しかし、本校の建学の精神である『徳性の陶冶』、教育による人格の練成はいつの時代においても不変であるので、これからも継承し、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する。

建学の理念の下、これからの混沌とした状況下においても生徒自ら問題・課題を発見し、他者と協働しながら問題・課題を解決して、新たな価値を創造する資質・能力を養成する。

また、未来に向けて、明るく、元気に、素直に、挑戦し続ける生徒を育成する。具体的には高い志を持って、仲間と共に挑戦しながら、育った地域に誇りと愛着を持って、ローカルかつグローバルな視点で社会に参画する生徒を育成する。そのための知・徳・体、調和のとれた真の生きる力を養成し、地域社会から愛され、信頼される学校にする。

山口県の総人口は平成17年の国勢調査において150万人の大台を割り込み、27年調査において140万5千人となり、その後減少が続いている。平成22年は人口増加率で下位12位、高齢化率では全国4位である。岩国・和木地区においては、5年後の平成32年度には岩国・和木町地区の中学生卒業生数は1355名から1223名に減少し、割合で90.3%になる。また、5年後の平成32年度には岩国市・和木町地区の小学生卒業生数は1280名から1189名に減少し、割合で92.9%になる。

以上を踏まえ、平成29年度入試から定員見直しを行い、普通科は240名から210名に、六年制普通科・付属中は90名から70名に変更する予定である。

付属中では、経営的には厳しくなるが、将来を見据え、優秀な人材（基礎学力と人物）を獲得するために、平成26年度から入試選考基準（入試での得点、調査書の観点別評定、面接）を厳しくし、人物・成績優秀な生徒に対しては奨学生制度を導入している。それが評価され、若干であるが、志願者数、入学者数が増加傾向にあるので、それを励みとして、教育改革を進めていきたい。

付属中では、真の学力（学力の3要素）を育成するために、平成26年度から5教科（英・数・国・社・理）を中心にアクティブ・ラーニング（A・L）を導入している。A・Lを効果的に行う手段としてICTの活用も求められる。平成28年度に付属中全教室に電子黒板を設置し、タブレット46台を配置したICT教室も新たに整備し、A・Lをさらに普及発展させる。また、教育課程の見直し、教育目標・内容・方法・評価を改善し、誰もが入学を強く望む中高6カ年の一貫校にしたい。

高校においては、3つの保障（人間性・学力・進路）と中学生にとって興味・関心が高い本校の特色ある運動部と文化部の部活動の魅力とその良さを定期的に中学校に発信しながら、毎年特待生を30名前後確保する。

併設の岩国短期大学では幼稚園教諭と保育士の両方の資格が取得可能で、高校からは有利な校内推薦入試を利用して入学できることを近隣中学校の進路説明会等で丁寧に説明する。

また、ユネスコスクールとしての地道な活動、特に姉妹校（カナダポールケイン高校）を通して短期・中期の国際交流ができることを広く周知していく。

1. 建学の精神

「徳性の陶冶」 真正な人物を養成する

2. 校訓

「師弟親愛」「堅実明朗」「勤労実践」

○徳育を重んじ師弟親愛による全人教育

人格の練成に重点をおく。そのためには、教師と生徒との精神的親和が大切であり、教師の高度の知性と教養を通して生徒自らが、その向上に努めなければならない。

○堅実で明朗な人物の育成

青年は快活、明朗さが生命である。豊かな教養を培い堅実で伸び伸びとした青年でなくてはならない。

○勤劳実践

勤劳を尊び、事にあたっては率先且つ積極的でなくてはならない。この習性を養うことが将来、自己を幸福にし、社会国家にも役立つことになるのである。

3. 平成28年度学校経営計画

(1) 使命（ミッション）：地域社会における自校の使命

創立以来の人間教育を受け継ぎ、社会に貢献できる人材を輩出する

(2) 将来像（ビジョン）：使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像

生徒の夢や目標を実現させることができ、地域住民から期待され信頼される学校

(3) 経営目標（目指す学校像）

①生徒に教養を身に付けさせ、夢や目標を実現させる学校

②生徒に社会人として必要なルールやマナーを身に付けさせる学校

③地域社会から愛され信頼される学校

(4) 今年度の重点目標—人間性の保障・学力の保障・進路の保障—

①特別活動や部活動等を通じた豊かな心や社会性を育む

②「わかる・できる・使える」授業を通じた基礎・基学力の向上

③「1つ上の目標」に挑む進路指導の推進

(5) 教育スローガン（教職員）

「確認・修正・伝える」

(6) チャレンジ目標（生徒）

①5分前行動

②先に挨拶をしよう

③1%を誰かのために

4. 学校運営方針

創立119年のスタートにあたり、教職員、生徒、保護者、卒業生がトータルでつくり出すモノ（伝統、雰囲気、活動など）を大切にしたい。学校は生徒が主役である。

○教職員は生徒の良きサポーター。教育のプロとして自覚し行動する。

○教職員が先頭に立ち、明るく、元気に、楽しくやろう。

※ 生徒は教師を映す「鏡」、環境は生徒と教員を映す「鏡」

～具体的取り組み～

(1) 各科のコースの特徴を前面に打ち出す —人間性を基盤に学力と進路保障—

①情報発信：学年・学級通信の発行

②総学とL.H.Rの連携と6カ年または3カ年を見通した計画

③高・低学力生徒へのきめ細かい配慮（長期休暇を利用した補講）

(2) 教科指導の充実：教職員の資質向上・授業力の向上に向けて

①シラバス・観点別評価の改善 ②研修授業への参加と教員間の相互授業参観

③授業時間の確保 ④授業アンケートの見直しと活用

(3) 学校行事等の精選と充実

①運動会・楽学祭の充実と発展

②朝の読書活動の充実 —生徒・教員が一緒に読書を楽しむ—

(4) ホウ(報告)・レン(連絡)・ソウ(相談)・ダ(打診)の徹底：緊密な連携・協働の推進

①危機管理への対応 何が異常なのか、何が非常なのか、何が緊急なのかを判断し、適切な対応ができる知識や技能を身に付ける。

②各科・学年・各分掌の縦割りをなくし情報の共有と協働

(5) 地域から信頼される学校づくり

- ①保護者・生徒アンケートの活用
- ②学校関係者評価委員会の充実
- ③積極的な広報活動、情報発信：HP・オープンスクール・各種説明会の充実

5. 学校長方針

建学の精神、校訓に基づき、平成 28 年度の学校経営目標及び学校運営方針を掲げた。

経営目標達成のために、今年度の目標を教職員が共有し実践する。

高等学校普通科に入学した生徒については、基礎学力伸長と人間力向上を図ることで、実社会で活躍できる人材を育成する。

付属中学校および高校一貫コースの六年制普通科については、これまでの運営についての改善・見直しを行うとともに、進学実績での成果が出るよう全教職員が積極的に支援する。

～具体的な取り組み～

(1) 学校運営・人材育成

経営感覚を有した教職員の育成と学校運営改善のための積極的な行動の奨励 他

(2) 授業力

授業アンケートのポイント向上のための授業の工夫・改善、大学入試問題分析強化、研究授業、教員研修等を通じた授業力の向上 他

(3) 教育内容

I C T教育実践のための環境整備と教科指導の事例研究と実践 他

(4) 生徒指導

ルールやマナーにこだわりを持たせる指導と教職員自らの率先垂範した行動 他

(5) 生徒募集

募集広報に有効な情報（成績伸長、活躍、教科の取組み・成果等）の共有化とホームページへの掲載 他

II 主な事業の目的・計画・及びその進捗状況

1. 3つの保障（基礎学力、人間性、進路）に対する取り組み

(1) 基礎学力の保障

①各科目標 普通科：基礎学力（知識、技能）の習得

六年制普通科：もう一つ上の目標の達成

②教員研修 年 5 回（1 学期 2 回、2 学期 2 回、3 学期 1 回） 特に発達障害への支援

③教科会議（原則、毎週 1 回）

④研究授業（5 教科）

⑤付属中では月 1 回の割合で 5 教科の研究授業とアクティブ・ラーニング（A・L）の手法を取り入れた授業実践

(2) 人間性の保障 特別活動や部活動を通じた取り組み

①運動会 9 月 3 日（土）

②楽学祭 9 月 23 日～24 日 テーマ「Infinity ～あふれる想いは無限大～」

P T A 主催のステージライブも開催

③修学旅行 ・普通科 2 年生修学旅行 9 月 28 日～10 月 1 日東京方面

・六年制普通科 1 年生 10 月 23 日～10 月 30 日オーストラリア

④挨拶・無遅刻無欠席運動週間 3 回実施

6 月 13 日～18 日

11 月 14 日～19 日

2 月 13 日～18 日

⑤普通科 2 年生インターンシップ 11 月 16 日(水) 普通科 2 年生 189 名、企業等 63 社

⑥部活動

実績：夏季全国大会出場クラブ（女子ハンド、空手道、水泳、柔道、放送、アーチェリー）

⑦その他

全日本高校模擬国連大会（2チーム出場）11月12日（土）・13日（日） 東京 国連大学

(3) 進路の保障

①付属中 ・楽学テスト3回 ・学力推移調査2回

②進学 外部模試の活用 中3~高3 進研・全統・駿台 ・模試検討会3回
就職 就職模試、就職ガイダンス

③進路研修会 保護者対象：各学年2回 生徒対象：各学年2回

④キャリア教育講演会 11月30日（水）12:50~15:00 体育館 映画上映と監督トーク
講師 石川梵監督 映画「世界でいちばん美しい村」
全校生徒、教職員、保護者、ソロボチミスト岩国関係者 計900名で視聴

2. 学校関係者評価委員会：外からの視点で指導・助言

・年3回（各学期開催）6月9日（木）、11月15日（火）、3月予定

・学校関係者評価委員

P T A：岡田由紀子(再任)、企業：寺内浩之(新任)、中村義行(新任)、教育界：岡崎天隆(新任)
地域：八木敦浩(新任)

3. グローバル化に向けて 異文化理解

(1) ネイティブ常勤講師採用 4月：1名採用

(2) I C Tの整備（付属中を中心に）夏季に実施予定

(3) 姉妹校の提携（6月27日~29日）

・オーストラリア、サザンクロス、C. C 2名来校、姉妹校提携

(4) 姉妹校の来校

・カナダポールケイン高校 校長、教員1名、生徒7名 7月7日（木）~11日（月）

(5) 姉妹校の訪問予定

・本校から教員1名、生徒7名、3月14日~23日

4. 広報活動

平成29年度生徒募集について

1月15日（日）付属中学校・六年制普通科入試

1月27日（金）普通科入試

【高校】

(1) 中学校訪問 4地区への訪問（旧市内、玖西、柳井以西、広島西地区）~各2名

第1回 6月16日 今年度入試の報告、卒業生・在校生の状況

第2回 12月5日 次年度入試について、3年生の進路状況

(2) 中学校進路説明会

10月4日（火）岩国市内、大島地区中学校教員17校

(3) オープンスクールの開催（8月・11月）

第1回8月6日（土）参加者457名（生徒374名、保護者79名、引率教員4名）

内容 ①入試対策講義 ②クラブ見学 ③クラブ体験

第2回11月3日 参加者141名（生徒106名、保護者34名、教員1名）

内容 ①入試対策講義 ②模擬授業 ③クラブ体験

(4) 文化部の発表会

・吹奏楽定期演奏会（5月3日、シンフォニア岩国）

・長唄三味線発表会（8月28日、シンフォニア岩国）

- (5) その他
- ・TYS番組「ちぐまや家族」での学校紹介(6月)
 - ・KRY番組女子ハンド部の紹介(6月)

【付属中】

- (1) 小学校訪問 (5月・9月)
- ・下松市～廿日市方面 (約100校)
- (2) 付中入試説明会
- ・10月2日(日)・29日(土) 計39組参加
- (3) オープンスクールの開催 (5・7・8月)
- (4) 学習塾挨拶回り (校長)
- 各校責任者と情報交換 11月中旬
 - 12月11日(日) 各学年主任と各校責任者と懇話会 計10名出席
- (5) ジュニア英語スクール
- 7月21日～30日 全7回 受講生14名
 - 9月28日～11月30日 全8回 毎週水曜日16:40～17:30 受講生9名

5. 学園教育振興寄付金

- ・同窓生 関西支部 (4月)、関東支部 (6月)、福岡支部 (7月) の訪問
- ・岩国、大竹地区の企業への訪問
- ・在校生

Ⅲ 施設等の状況

1. 現有施設整備の所在地等の説明
2. 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況
 - (1) ICT教室の整備
 - 電子黒板 ○書画カメラ ○ノートパソコン4台○タブレット46台○ビデオカメラ1台
 - レーザープリンター1台 ○プロジェクター3台
 - (2) 付属中教室 (6教室) のICT化
 - 電子黒板 ○書画カメラ